



The University of  
Osaka



# 大阪大学財務レポート2025

The University of Osaka Financial Report 2025

# 財務トピックス

## 建物の整備

本学は最先端の教育・研究・診療を実現するための環境整備を推進しています。

医療ニーズの変化へ柔軟に対応し、良質かつ高度な医療の提供及び社会・地域医療への貢献をこれからも継続するため、医学部附属病院の再開発整備事業として、2025年1月に「統合診療棟」が竣工しました。外来機能、中央診療機能及び一部病棟機能を既存棟から移転し、2025年5月に開院しました。新たな建物は地上8階、地下2階からなり、眼科の外来・入院・手術室を同じフロアに一体的に整備したアイセンターや、生物遺伝資源を高品質に保存・管理し、ゲノム医療の臨床提供に寄与するバイオリソースセンターを新設しました。

また、感染症総合知のハブとなる感染症総合教育研究拠点の新たな教育研究棟として、2025年2月に「大阪大学・日本財団感染症センター」が竣工しました。世界的建築家・安藤忠雄氏が「宇宙船地球号」というコンセプトのもとにデザインを監修しました。世界に開かれた感染症研究拠点として、感染症に関する研究及び研究成果の社会実装、人材の育成、社会への情報発信を推進する強固なプラットフォームを目指します。

これらの建物を整備したことで、2024年度の貸借対照表において、固定資産の「建物・構築物」の科目が前年度から57,692百万円増加し、171,354百万円を計上しました。



統合診療棟



大阪大学・日本財団感染症センター

## 資金運用体制の強化

本学は自律的な成長を支える財政基盤を確立するため、資金運用体制を強化しています。

2025年5月に首都圏における本学の活動拠点として東京オフィス「HANDAI Tokyo Square」を開設し、10月には高度な専門性に基づく戦略的な資金運用活動の拠点として、東京オフィス内に「資金運用室」を設置しました。東京以外の大学が運用拠点を東京に設けるのは珍しく、資金運用に関する情報が集約される経済の中心であり、人材も豊富な東京を拠点に、さらなる運用の拡大を図ります。

また、当室の室長として最高投資責任者(CIO)を配置しました。資金運用戦略を統括し、適切な運用とリスク管理を通じて、自律可能な財務基盤の強化を図ってまいります。

当室においては、資金運用の実務経験者を学外から登用するとともに、学内職員を資金運用の高度専門職人材として育成することとしています。

本学の資金運用の実績としては、2024年度の貸借対照表において、流動資産の「その他」の科目に、金銭の信託11,476百万円を計上しました。

# 財務諸表データ

財務諸表の詳細はこちらから  
<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/zaimu>



## 貸借対照表 (BS)

科目	2023年度	2024年度
<b>資産</b>	<b>541,901</b>	<b>607,418</b>
<b>固定資産</b>	<b>417,748</b>	<b>482,703</b>
有形固定資産	401,146	455,842
土地	219,935	220,033
建物・構築物	113,662	171,354
機械・装置・工具・器具・備品	29,269	41,607
図書	20,707	20,709
その他	17,571	2,138
無形固定資産	1,398	1,517
投資その他の資産	15,203	25,342
<b>流動資産</b>	<b>124,153</b>	<b>124,715</b>
現金預金	93,829	91,443
未収入金	12,244	15,623
その他	18,079	17,648
<b>負債</b>	<b>140,344</b>	<b>191,089</b>
<b>固定負債</b>	<b>63,380</b>	<b>103,510</b>
長期繰延補助金等	5,961	6,594
長期借入金	13,545	52,292
国立大学法人等債	30,000	30,000
長期未払金	9,636	8,381
その他	4,237	6,241
<b>流動負債</b>	<b>76,963</b>	<b>87,578</b>
運営費交付金債務	1,072	2,333
預り施設費	1,978	253
寄附金債務	32,375	30,207
前受受託研究費等	14,751	14,955
一年以内返済予定長期借入金等	1,135	1,718
未払金	19,846	31,971
その他	5,802	6,137
<b>純資産</b>	<b>401,557</b>	<b>416,329</b>
資本金	284,409	284,409
資本剰余金	△ 3,500	4,013
利益剰余金	120,648	127,906
前中期目標期間繰越積立金	61,589	56,057
目的積立金	4,079	5,759
積立金	49,535	52,890
当期末処分利益(当期総利益)	5,443	13,199
<b>負債+純資産</b>	<b>541,901</b>	<b>607,418</b>

## 損益計算書 (PL)

(単位：百万円)

科目	2023年度	2024年度
<b>経常費用</b>	<b>162,736</b>	<b>169,780</b>
教育経費	4,673	4,830
研究経費	20,278	21,005
診療経費	34,867	37,960
教育研究支援経費	2,426	2,068
受託研究費等	29,736	32,333
人件費	64,304	65,149
一般管理費	5,299	5,213
財務費用	493	732
雑損	657	488
<b>経常収益</b>	<b>167,775</b>	<b>182,557</b>
運営費交付金収益	44,773	45,605
学生納付金収益	13,830	13,856
附属病院収益	50,595	52,443
受託研究等収益	34,266	37,223
寄附金収益	11,062	16,663
施設費収益	274	439
補助金等収益	6,807	8,144
財務収益	163	291
雑益	6,002	7,889
<b>経常利益</b>	<b>5,039</b>	<b>12,776</b>
臨時損失	5	0
臨時利益	50	0
<b>当期純利益</b>	<b>5,084</b>	<b>12,777</b>
目的積立金取崩額	5	152
前中期目標期間繰越積立金取崩額	354	270
<b>当期総利益</b>	<b>5,443</b>	<b>13,199</b>

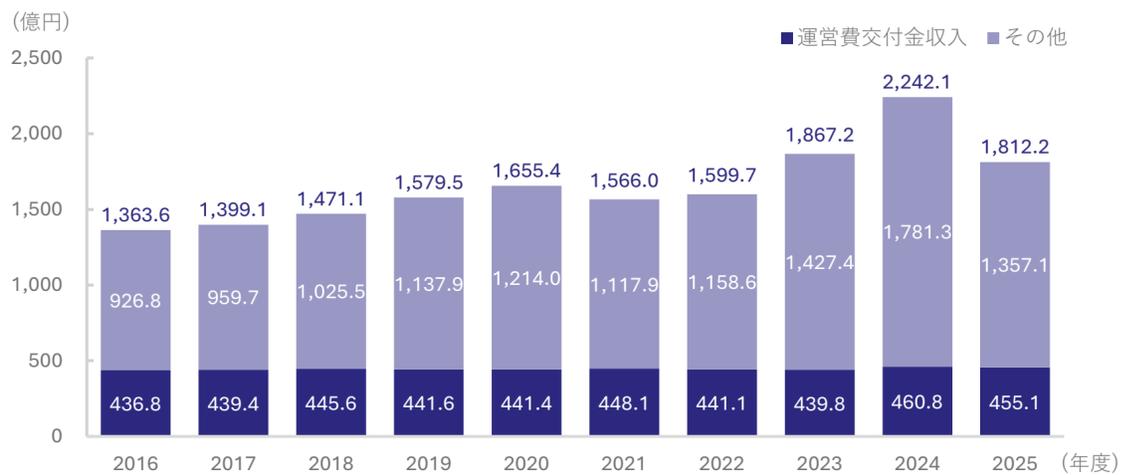
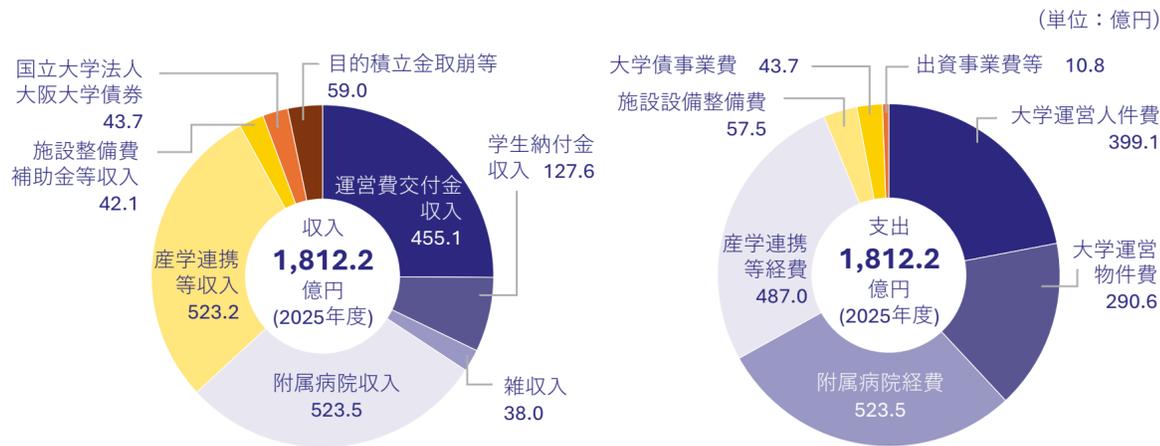
## キャッシュ・フロー計算書 (CF)

区分	2023年度	2024年度
業務活動によるキャッシュ・フロー	25,100	24,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,837	△ 63,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,564	36,431
資金に係る換算差額	△ 10	△ 2
<b>資金期首残高</b>	<b>92,011</b>	<b>93,829</b>
<b>資金期末残高</b>	<b>93,829</b>	<b>91,443</b>

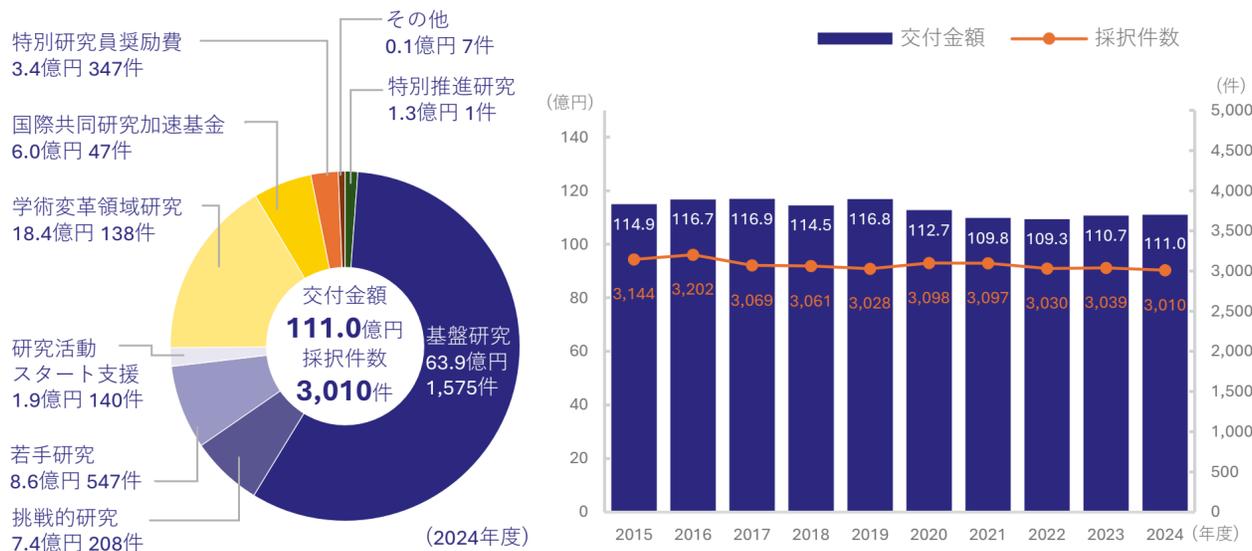
※財務諸表データは、単位未満切捨のため合計金額が合わない場合があります。

# 財務ハイライト

## 予算

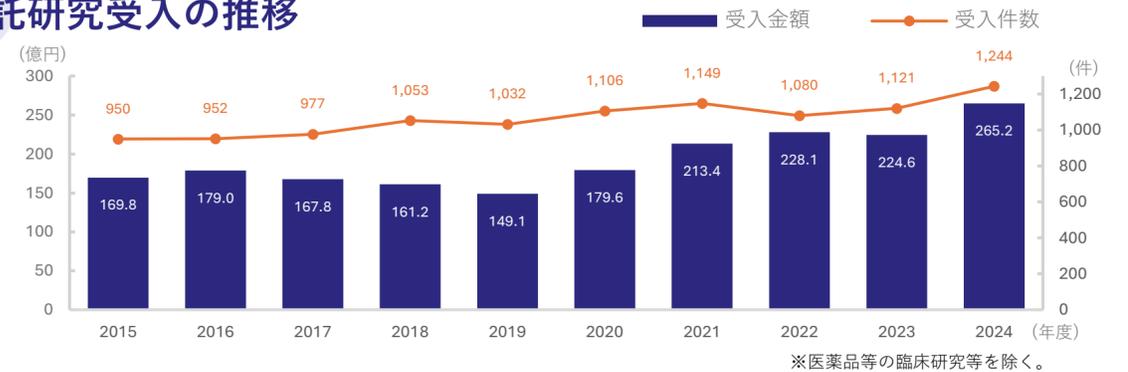


## 科学研究費助成事業の採択状況

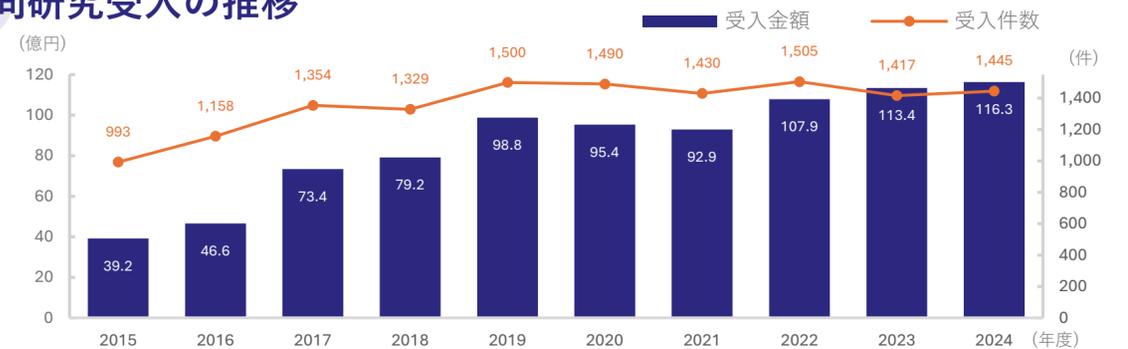


## 外部資金

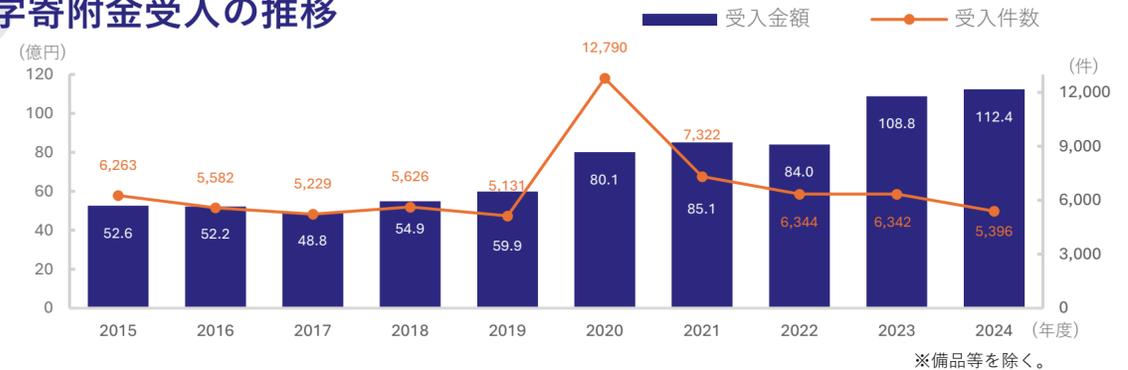
### 受託研究受入の推移



### 共同研究受入の推移



### 奨学寄附金受入の推移



## 産学官連携推進活動経費

大阪大学が共同研究等を実施する際、研究者の学術的知見等への対価も含めた直接的なコストとは別に、産学官連携推進活動経費として直接的なコストの30%を負担いただいています。2024年度は20.5億円の受入がありました。同経費は産学官連携活動の維持・発展に資するものとして、知的財産権の出願・維持・管理や共同研究相談、契約をはじめとした産学連携推進業務、共同研究等の基盤となる研究環境の整備等に活用しています。

支出額と主な用途(2024年度)		(単位：億円)
運営経費・事業費	8.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>共創機構分室運営</li> <li>シーズ集作成</li> <li>梅田オフィス、東京オフィス運営</li> <li>社会実装グラント支援</li> <li>共創機構、共創推進部運営</li> <li>スーパーコンピュータの維持・管理</li> </ul>
人件費	5.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携コーディネーター</li> <li>知的財産活動</li> <li>共同研究契約・積算支援</li> </ul>
光熱水費	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究環境の維持に必要な電気・ガス・水道料金</li> </ul>
知的財産経費	2.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的財産の出願・維持・管理及び活用</li> </ul>
その他	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型包括連携支援</li> <li>電子ジャーナルの利用</li> <li>研究環境の維持・改善に資する施設・設備の整備</li> </ul>
計	23.8	

※支出額には前年度からの繰越額を含む。

# 非財務ハイライト①

## 組織

(2025年5月1日現在)

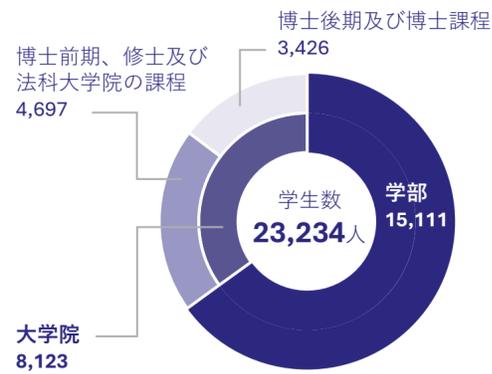
11 学部	10 研究科	5 大学院独立 研究科
6 附置研究所	2 全国共同 利用施設	9 学内共同 教育研究施設
4 附属図書館	2 附属病院	3 世界最先端 研究機構

その他(全学教育推進機構等)

34 寄附講座・ 寄附研究部門	85 共同研究講座・ 共同研究部門	25 協働研究所
-----------------------	-------------------------	-------------

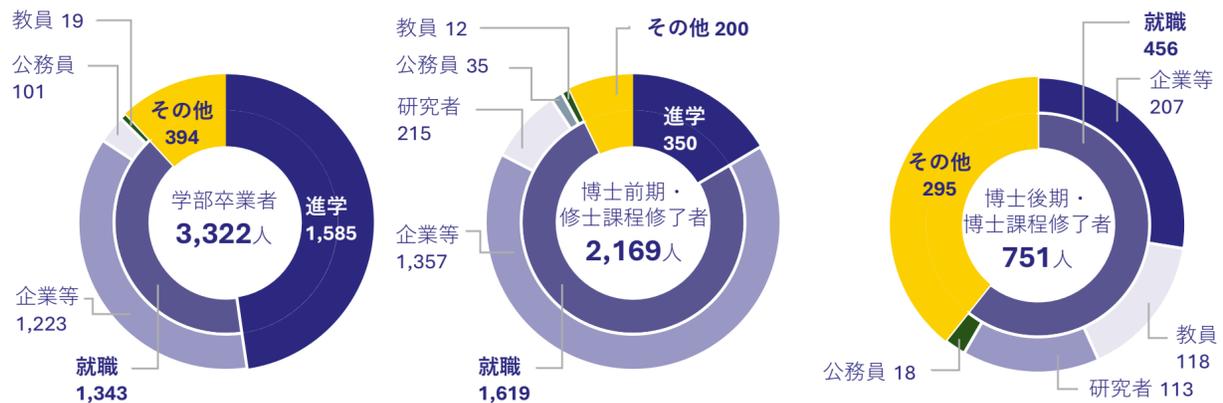
## 学生数

(2025年5月1日現在)  
(単位：人)



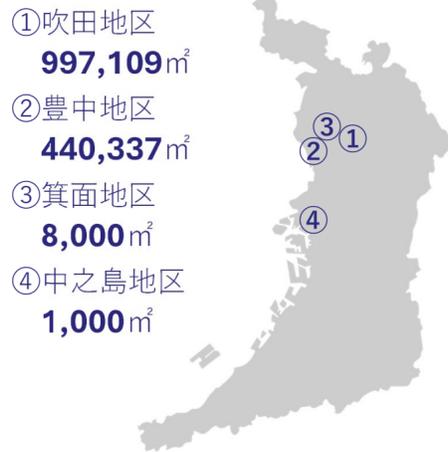
## 卒業生・修了者数

(2024年度卒業・修了)  
(単位：人)



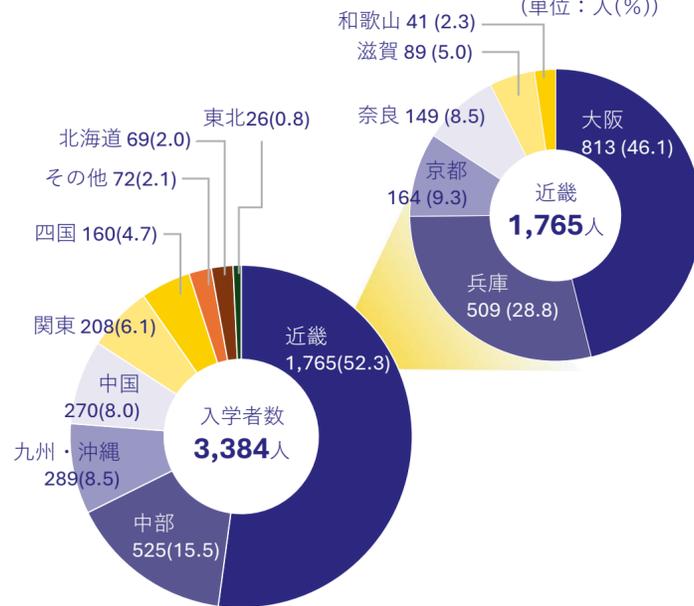
## キャンパス

(2025年5月1日現在)



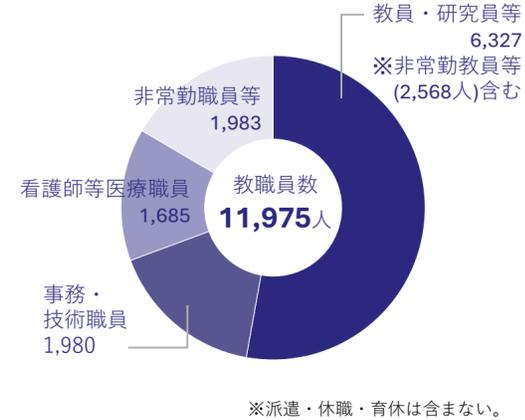
## 出身高校等所在地別入学者数(学部)

(2025年4月入学)  
(単位：人(%)



## 教職員数

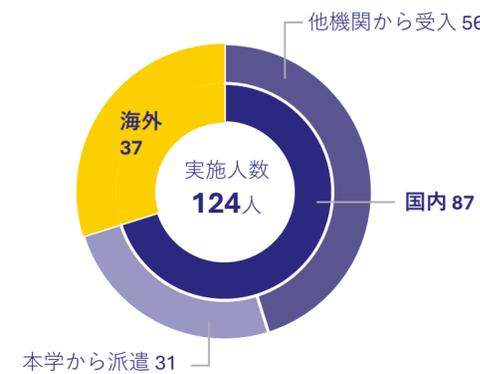
(2025年5月1日現在)  
(単位：人)



※派遣・休職・育休は含まない。

## クロス・アポイントメント

(2025年3月1日現在)  
(単位：人)

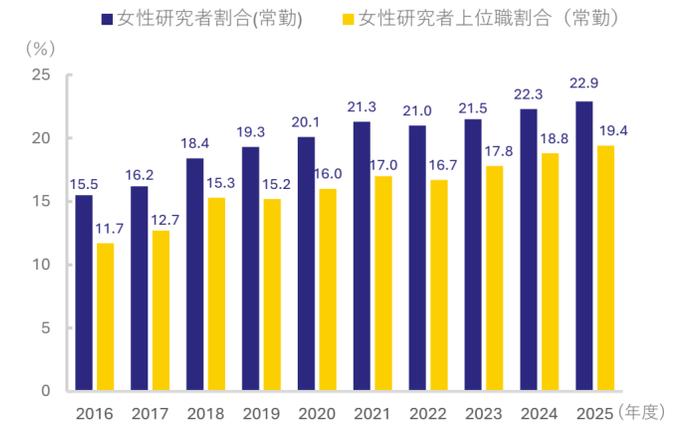


## 技術移転収入の推移

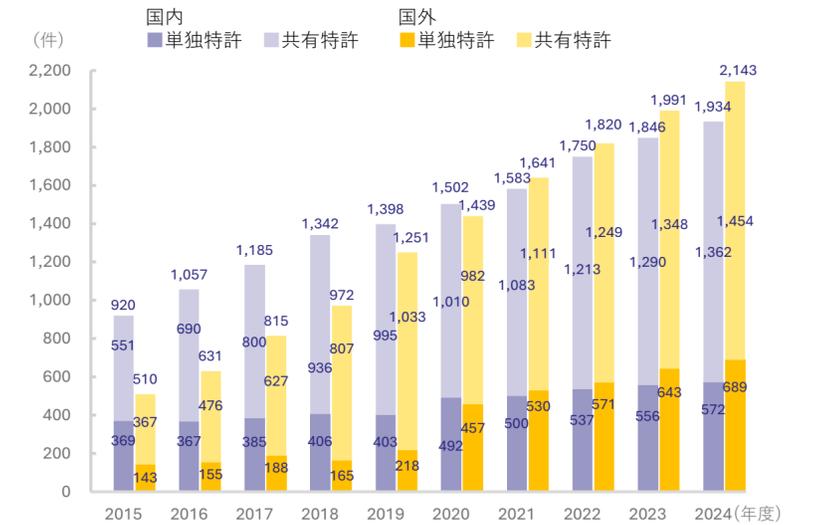


## 女性研究者・上位職割合(常勤)

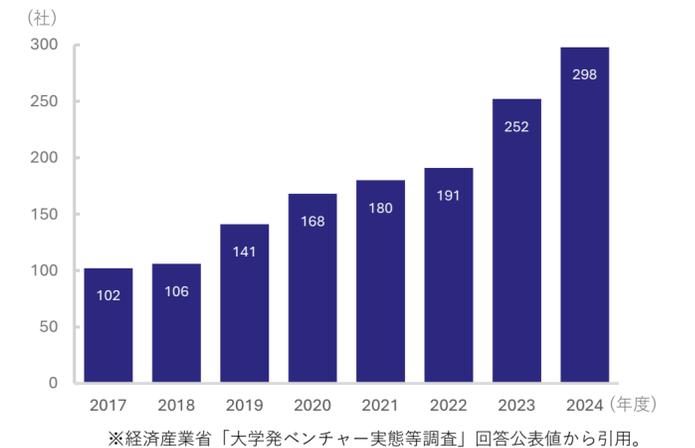
(各年度5月1日現在)



## 特許件数の推移



## 大阪大学発ベンチャー創出数の推移



※経済産業省「大学発ベンチャー実態等調査」回答公表値から引用。

# 非財務ハイライト②

## 海外拠点・ASEANキャンパス及び戦略的パートナー大学

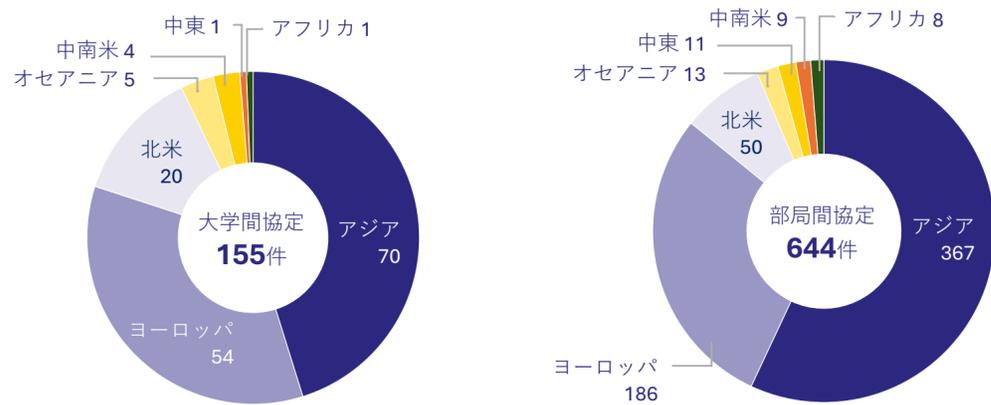
(2025年12月1日現在)



## 学術交流協定状況

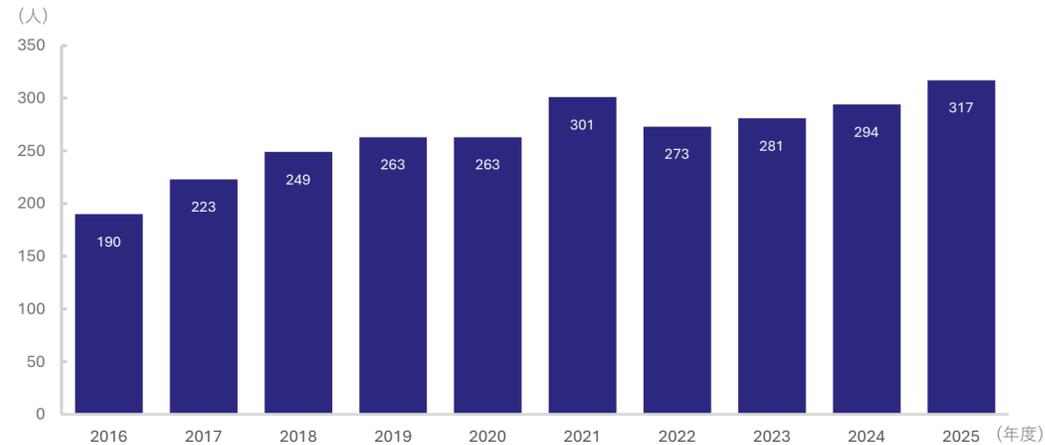
(2025年5月1日現在)

(単位：件)



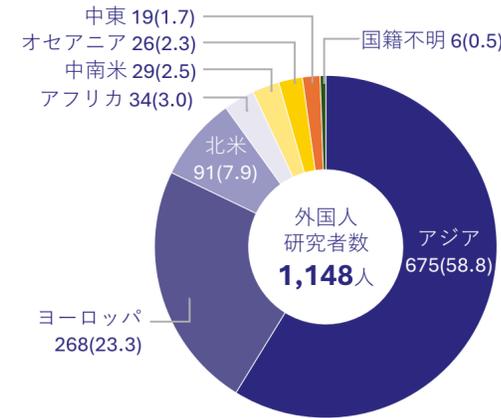
## 外国人教員数の推移

(各年度5月1日現在)



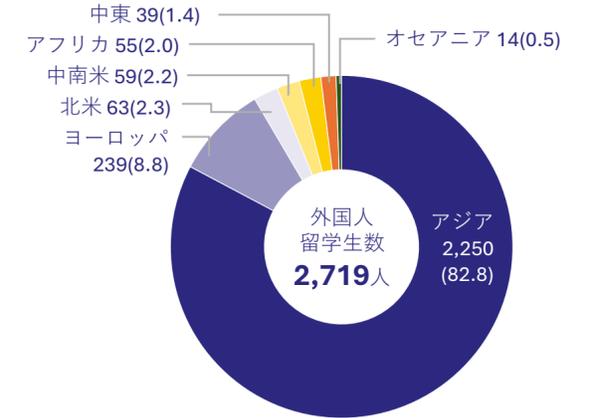
## 外国人研究者数

(2024年度)  
(単位：人(%))



## 外国人留学生数

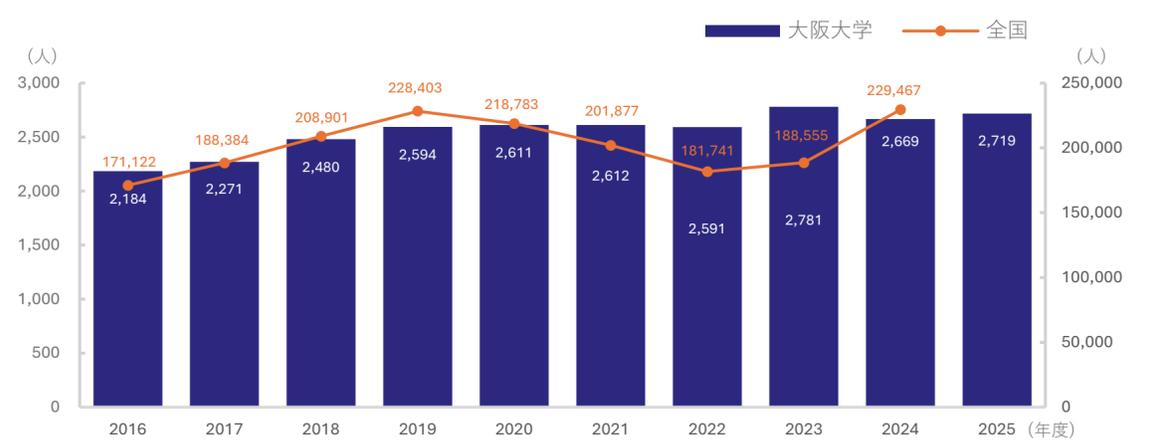
(2025年5月1日現在)  
(単位：人(%))



※在留資格「留学」により在籍する外国人学生。

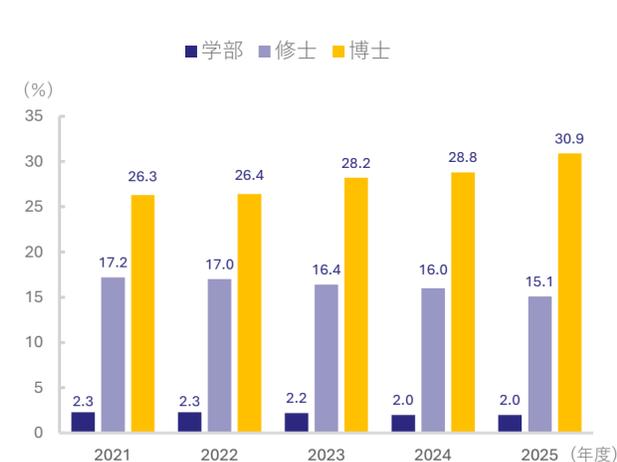
## 外国人留学生数の推移

(各年度5月1日現在)



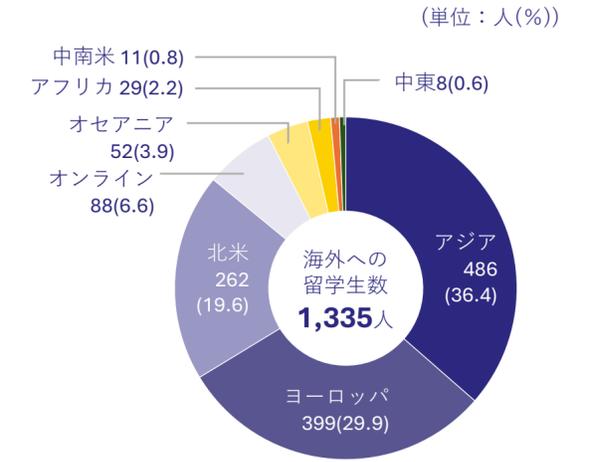
## 全学生数に占める留学生割合

(各年度5月1日現在)



## 海外への留学生数

(2024年度)  
(単位：人(%))



# 未来基金

大阪大学未来基金は、長期的に安定した財政基盤を確立するために2009年に設置されて以来、多くの皆さまからの温かいご支援により、順調に拡大してまいりました。皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。

今後も、大阪大学に期待される役割を果たし続けるためには、地域や社会の皆さまからの理解と支援が欠かせません。「実学の阪大」の伝統を継承しつつ、教育と研究を通じて得た成果を社会へ還元し、未来を切り拓いていく力を次世代に繋いでいきます。「地域に生き世界に伸びる」～これからも大阪大学は、地域とともに歩み、社会とともに成長してまいります。

卒業生の方々をはじめ、教職員、個人、企業、団体などの皆さまにおかれましては、「大阪大学未来基金」へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 未来基金のしくみ

大阪大学未来基金には、未来社会に向けた「ゆめ基金」と特定の目的に向けた「特定基金」がございます。ゆめ基金と特定基金はそれぞれを区分して管理しております。

## 税制上の優遇措置

「大阪大学修学支援事業基金」及び「大阪大学研究等支援事業基金」への個人の方からのご寄付については、他の未来基金同様の「所得控除」に加えて、「税額控除」も適用対象となります。確定申告の際、「所得控除」「税額控除」のいずれかを選択いただけます。

ご寄付いただいた方々の所得に応じた税率を寄付金額に乘じ、控除額を決定します。所得税率が高い方に効果大きい制度です。

所得控除

$$\left( \text{所得金額 (年収)} - \text{諸控除 (扶養控除等)} \right) \times \text{税率 } 5\sim 45\% = \text{所得税額}$$

所得に応じた税率を乗じて控除額を決定

税額控除

$$\left( \text{所得金額 (年収)} - \text{諸控除 (扶養控除等)} \right) \times \text{税率 } 5\sim 45\% = \text{所得税額}$$

ご寄付いただいた方々の所得税率に関係なく、所得税額から直接寄付金額の一定割合を控除します。従来の所得控除に比べ、小口のご寄付にも減税効果が大きい制度です。

※上記はあくまで目安であり、実際の控除額等減税効果は各収入の種別によっても異なります。  
 ※税額控除をご利用される方は、確定申告の際、大阪大学が発行する「寄付金額収書」「税額控除に係る証明書(写)」を所轄税務署にご提出ください。

## 坂口志文研究応援基金の設置

大阪大学免疫学フロンティア研究センターの坂口志文特別栄誉教授が2025年ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。免疫反応を抑制的に制御する制御性T細胞を発見した功績が認められたことによる受賞です。

大阪大学未来基金では、受賞決定を受けて、新たに「坂口志文研究応援基金」を設置しました。本基金は制御性T細胞に関連する研究推進のための研究活動支援のほか、若手研究者の養成や海外派遣、研究者や研究スタッフの雇用、研究拠点の管理運営に充当される予定です。

## 未来基金の活動状況

未来基金の受入金額の累計は138.6億円(残高59.1億円)に達しました。皆さまからのご寄付は、学生や若手研究者への支援や本学の研究活動等に有効活用させていただいております。未来基金のWebサイトや活動報告書では、これらの支援による活動の感謝のメッセージを掲載していますので、ぜひご覧ください。

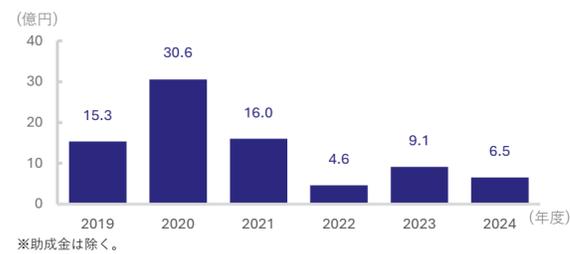


大阪大学未来基金  
～活動報告書2025～

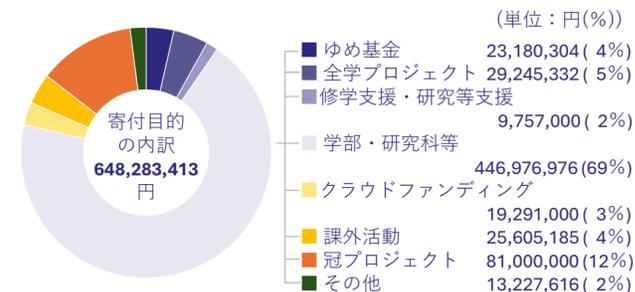
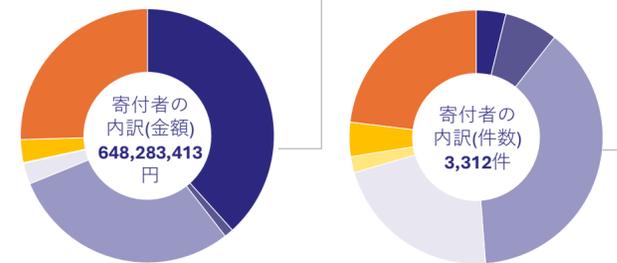
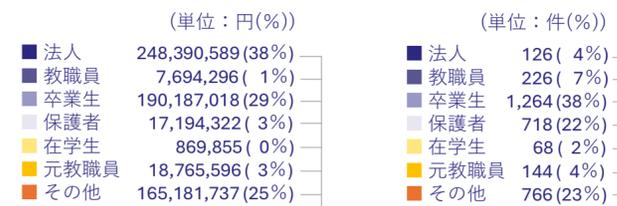
内訳		累計額(億円)
収入	寄付受入	136.1
	運用益	2.5
	小計	138.6
支出	基金事業への支出	78.1
	活動費	1.4
	小計	79.5
基金残高(2025年3月31日現在)		59.1

※助成金は除く。(2009年5月～2025年3月)  
 ※小数点以下第2位を四捨五入しています。

## 未来基金受入金額の推移(年度別)



## 寄付者・寄付目的の内訳(2024年度)



## ゆめ基金

～ゆめ基金、それは未来の社会の「ゆめ」を応援する仕組みです～  
 未来社会の「ゆめ」を実現させるため大阪大学を応援していただく基金です。

## 2024年度活動報告 ゆめ基金事業で支援を受けた学生からのメッセージ



### 〈グローバル化推進事業〉 外国語学部2年 西原 穂華 インドネシア・フィールドワーク実習

2024年9月にジャカルタで行われたインドネシア・フィールドワーク実習に参加する際に助成金をいただきました。ありがとうございました。

この実習においてインドネシア大学で言語や文化を学び、イスラム宗教学校を訪ねて学生と交流し、休日には観光をしました。大学の授業ではアルンバという楽器の演奏やパティックの製作などを通して、伝統的な文化に直接触れることができました。また、インドネシアの学生や一般の人々との交流において、インドネシア人の心の温かさに触れ、もっとインドネシアについて知りたい、学びたいと感じました。これらの経験はとても貴重な経験になり、日本に戻ってからはスピーチコンテストに参加し、発表しました。

私は将来、日本と世界を繋ぐグローバルな人材になりたいと考えています。この経験を最大限に生かし、広い視野をもって、これからの生活に励んでいきたいです。



### 〈自主研究奨励事業〉 薬学部4年 木俣 爽太 脱顆粒抑制効果を示すフィットケミカルの作用機序の解明及び抗アレルギー効果の評価

この度は大阪大学未来基金を通じて、自主研究奨励事業に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちは1年次より、延命草由来化合物Oridoninのアレルギー抑制作用に関する研究に取り組み、その作用機序を細胞および動物モデルを用いて明らかにしてまいりました。研究成果をまとめた論文は、Biological and Pharmaceutical Bulletin誌に掲載され、日本薬学会第144回年会では注目演題として年会ハイライトに選出されるなど、高い評価を頂きました。

皆様のご支援により、テーマ決定から論文掲載に至るまで、他では得難い貴重な経験を積むことができました。

今後は本研究で得た知見と経験を糧に、創薬や疾患治療に貢献できる薬剤師・研究者を目指して一層精進してまいります。



### 〈学生課外活動等支援事業〉 フェンシング部 ハイブリッドピスト

この度は未来基金へご支援いただき本当にありがとうございました。支援金でハイブリッドピストを購入することができました。軽量で持ち運びしやすいハイブリッドピストがあることで、ピストの設置が以前よりも少ない負担で、迅速に行えるようになりました。試合をする時はもちろんのこと、日々の練習でもピストを設置できるようになったため、より実践に近づけた形で取り組むことができ、とても役立っています。

今年、全国七大学総合体育大会・全国国公立大学フェンシング選手権の主催をさせて頂きます。両試合において、ハイブリッドピストを使わせて頂きます。本大学での開催ということで、試合をスムーズに進行できるよう努めたいと思います。また、総合優勝を達成するために練習に励みます。

